

術中迅速細胞診検査		P000004			
		担当部署			
迅速細胞診		病理			
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		該当なし			
オーダー手順	1	電子カルテ→指示②→病理細胞検査→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		1) 凝固している。			
検査受付時間		8 : 45 ~ 17 : 00			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		手術、及び内視鏡、穿刺等の侵襲的検体採取では様々な準備が必要となるため、各々の担当医師、担当看護師等の指示に従う。			
検体採取の特別なタイミング		手術中			
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位	
1	その他材料液 状検体	滅菌済みコニカル管 (栄研化学株式会社)	胸水、腹水、心嚢液の場合は添加剤 としてアングロットが必要	該当なし	該当なし
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		1) オーダーラベルがない 2) 容器内の液がない			
保管検体の保存期間		1) スライドガラス ; 半永久 2) 液状検体 ; 当日中			

						* 保管検体から再検査をオーダーする場合は要連絡					
検査結果・報告											
検査室の所在地				病院棟 3 階 病理診断科							
測定時間				20～40 分							
生物学的基準範囲				該当なし							
臨床判断値				該当なし							
基準値								単位		該当なし	
共通低値		共通高値		男性低値		男性高値		女性低値		女性高値	
該当なし		該当なし		該当なし		該当なし		該当なし		該当なし	
パニック値		高値		該当なし							
		低値		該当なし							
生理的変動要因				該当なし							
臨床的意義				<p>術中迅速細胞診</p> <p>術中迅速細胞診は通常業務に比べ標本作製やスクリーニング（さらには診断）にかかる時間を極力短くしなければならない。術式に直接影響することもあり、臨床への情報的価値はきわめて大きい。胃癌取り扱い規約には腹腔（洗浄）細胞診についての記載があり、進行度（stage）を決定する因子の 1 つにもなっている。すなわち細胞診で癌細胞が陽性なら、ほかのいかなる因子が陰性であっても stage IV となる。</p> <p>臨床検査法提要改訂第 34 版：1388,2015.</p>							